

皆さん、明けまして、おめでとうございます。

新しい年2025年が始まりました。2学期の終業式でお話した確固たる目的がある「今年こそは・・・」と強く決意したことは、何ですか。

今日は、新しい学期3学期の始まりです。3学期は、今の学年のまとめの学期であり、次のステージへ進むための準備をする学期でもあります。また、学期の中で一番短い学期で、1，2年生は54日、3年生は51日です。今の仲間と過ごす大切な一日一日になります。日々、悔いのないよう過ごしてほしいと思います。そして、次のステージにふさわしい人となってほしいと思います。

3年生には、進路の決定に向けて、全力で悔いのない挑戦をして欲しと願っています。2年生には、真中の伝統をしっかりと受け継ぎ、真中をリードする学年としての責任を果たすこと、1年生には、3ヶ月後には新入生を迎えますから、真の意味で先輩と呼ばれるに足る実力を備えた本物の中学生を目指してほしいと思います。しかし、実現するためには、苦労や困難がつきものです。立ちほだかる壁を乗り越えて、物事を成功・実現させるためには、覚悟をも

ってくじけずに粘り強く本気で取り組むことが、絶対に必要な条件となります。

さて、みなさんは日本の国技であるお相撲を見たことがありますか？もし見たことがない人は1月12日から1月場所、初場所が始まるので見てみてください。NHKで放送されます。そのお相撲について今日はお話をします。お相撲の試合が始まる時に行司さん（いわゆる審判員）は、何て言っているか知っていますか？

「はっけよーい のこった」と言っています。お相撲を見たことがない人も1回くらいはこの言葉を聞いたことがあるのではないのでしょうか。では、どういう意味でしょうか。いろいろな説があるのですが、今の皆さんにぴったりのものをご紹介します。漢字で書くと「発気用意」（はっきようい）です。これは、「不発気不生力」（気を発せずんば力生ぜず）「不用意不成技」（意を用いずんば技ならず）という言葉からきていて、要するに、「発気用意」は、「体中の気力を出して、よく考えて工夫して勝負しなさい」と言っているのです。「残った」は、まだ勝負がついていないということです。

「気力を出して、よく考えて工夫して勝負しなさい」は、なにも

相撲に限ったことではなく、他のことにも通じるものです。スポーツをする時はもちろんですが、勉強をする時や仕事をする時にも、物事を成功、実現するためには、2つのことが大切です。「明日からがんばる」というゆるい気持ちじゃなくて、一つ目は、「よし、やるぞ!」と気力を充実させ、二つ目は、「計画や作戦」をしっかりと考えて実践することが大切です。皆さんが新年、新学期を迎えるにあたって立てた目標への取り組みは、まだ始まったばかりか、これからはじまるところです。日々の地道な積み重ねこそが目標達成への近道です。一日一日を大切に、3日坊主とならないように・・・

「発気用意 残った!!!」。